

1 自由回答

各調査の自由回答を以下のようにとりまとめたので報告する。

(1) 利用者調査

サービス内容について

- ・ 手続きの簡単な一時預かりのシステムをつくってください。ショートステイは何ヶ月も前からの予約なので、いざというときに役立たないと思います。(女性、80～84歳、南町在住)
- ・ 介護保険制度ができてから利用しているので現状しかわからないが、デイサービス等でもう少しリハビリの時間を増やしてほしい。(女性、65～69歳、南町在住)
- ・ ひとつの施設だけでなく、いろいろな施設を利用したい(男性、40～64歳、ひばりが丘在住)
- ・ 毎日ヘルパーの介護を受けており、たいへんありがたく思っております。しかしヘルパーの質にばらつきが大きいと思います。経験・知識のほかに人間性に起因するところがあります。努力してできる範囲のことは習得してから現場に出てほしいと思います。(女性、85～89歳、下保谷在住)

利用者・保険料負担について

- ・ 保険料を支払うのはしかたないが、今まで無料だったものに対してお金を払っているのは慣れるまで時間がかかります。(女性、70～74歳、芝久保町在住)
- ・ 介護保険料が高すぎる。低所得者にとっては家庭経済を苦しめている。(女性、85～89歳、泉町在住)
- ・ 利用料の負担軽減があれば、もっとサービスを遠慮なく利用できると思う。(女性、80～84歳、南町在住)
- ・ 西東京市になってから、福祉手当が少なくなり、さらに介護保険料やサービスの一部負担金を支払うことが、90歳以上2人を介護しているととてもたいへんです。(女性、90歳以上、泉町在住)

家族介護について

- ・ 介護保険サービスを多く利用したいが、要介護者本人が家族の世話を望むので利用できず、家族の負担が大きい。要介護者の意識を変えたいが難しい。(女性、90歳以上、住吉町在住)
- ・ 老人の介護については、原則として家庭の負担を極力なくしていく方向が良い。(女性、85～89歳、柳沢在住)

相談について

- ・ もっと連絡や相談・報告がほしい。(男性、80～84歳、田無町在住)
- ・ 介護保険サービスについて、今受けている要介護度でどのようなサービスが受けられるのかよく理解できない。ケアマネジャーに具体的に説明していただきたいと思います。(男性、75～79歳、保谷町在住)
- ・ 私の介護保険サービスの利用は9月からでまだ十分に理解しているとは言えませんが、特に相談できる場所を増やすことに力を入れてもらいたいと思います。(男性、80～84

歳、泉町在住)

認定について

- ・ 介護認定を受けるまで、受けてから結果が出るまでに時間がかかりすぎる。(男性、80～84歳、芝久保町在住)
- ・ 介護認定を迅速に行なうようにされたい。(女性、85～89歳、柳沢在住)
- ・ 現在の要介護認定、特にコンピュータ判定には不信が残る。たいへんでしょうが、一人一人の違いをしっかりと受けとめてほしい。(女性、65～69歳、中町在住)

基盤整備について

- ・ 介護保険料が高すぎると思う。リハビリの担当者が少ないので、充分なリハビリが受けられない。施設をもっと増やしてほしいと思う。(女性、70～74歳、泉町在住)
- ・ 痴呆性グループホームの充実が大切だと思います。(女性、65～69歳、北原町在住)

その他

- ・ 介護保険料は当然必要であると思うが、市としてボランティアを募り、1日1回高齢者の生死の確認や町内の相談や連絡に活用を図ることもできるのではないか。(男性、80～84歳、谷戸町在住)
- ・ 地域医療制度の充実のため、近所のかかりつけ医制度の充実・確立を行政による援助で検討してほしい。(女性、85～89歳、新町在住)
- ・ もう少しヘルパーを増やし、急に頼みたいときなどに支援してもらいたい。費用負担を安くしてほしい。(女性、85～89歳、保谷町在住)
- ・ 介護保険制度が充実するよう、行政、専門家だけではなく、民生委員などの地域住民が介護保険を理解していくべき。(男性、65～69歳、南町在住)
- ・ 在宅介護では無理な状態なので、施設に入所して介護を受けているが、現在非常に困っていることは、3ヶ月で退所しなければならず、次に入所するところを探すのに四苦八苦することである。(男性、80～84歳、富士町在住)

(2) 未利用者

サービス内容について

- ・ 世話をしている者がほんとうに疲れてきて困っているとき、2～3日でも預かってもらいたい。困っているときにはすぐ役に立つようにしてもらいたい。(男性、65～69歳、住吉町在住)
- ・ 介護保険サービスのなかで、通院の際の移送サービスと付き添い人サービスを充実させてほしいです。(女性、65～69歳、ひばりが丘北在住)

利用者・保険料負担について

- ・ 現在入院中で介護保険サービスを受けておりません。長期入院・退院の見込みのない人には、保険料の引き下げ、免除等の負担軽減と健康保険のように介護保険が使える病院を増やしてほしい。(男性、80～84歳、南町在住)

基盤整備について

- ・ 特別養護老人ホーム等の施設や介護療養型の医療施設をもっと増やし、空き待ちの状態をなくしてほしい。(女性、85～89歳、南町在住)
- ・ 介護施設に入りたくても何年も待ってやっと入れる状態です。年齢制限をすとか、

何か良い方法はないでしょうか。一般病院への入院は費用がかかりすぎて家族の負担が大きすぎるし、保険料を払っているのに利用できないのは納得がいきません。(女性、90歳以上、泉町在住)

- ・ 施設への待機期間が高齢者にとっては長すぎます。入所したいときに速やかにできるよう、施設の充実を希望します。(女性、90歳以上、谷戸町在住)
- ・ 市内に病院併設の老人ホームが必要ではないか。(女性、75～79歳、向台町在住)

その他

- ・ 入院中で介護保険サービスをまったく利用していない場合には、別のサービスまたは補助等が受けられるようにしてほしい。(女性、65～69歳、ひばりが丘北在住)
- ・ 介護保険サービスを受けたいが、どこにどうして相談してよいのか、ケアマネジャーの選び方がよくわからない。(男性、70～74歳、西原町在住)
- ・ サービスを受けたいとは思っておりますが、家の中が散らかっていたり汚れていたりして、来てもらうことになかなか踏み切れません。(女性、40～64歳、保谷町在住)
- ・ 施設を利用している人には補助がたくさんでて、家族で本人の幸せを願って面倒を見ているところには何の補助もせず、本人も世話をすることも納めできません。(女性、90歳以上、北原町在住)

(3) 施設等入所者

サービス内容について

- ・ 医療保険で入所したので、介護保険開始後どこまでが医療保険でどこまでが介護保険なのかが不明。(男性、75～79歳、介護療養型医療施設(療養型病床群等))
- ・ 特別養護老人ホームには介護してくれる方が少なすぎます。何かあったときにすぐに対応できないことも。(女性、90歳以上、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))
- ・ 利用者に係わる人を多く入れ、機能訓練に力を入れてほしい。職員の負担が大きいため、ボランティアを募集して市民の力を老人の方に向けてほしい。(女性、85～89歳、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))
- ・ 一般病院から介護療養型医療施設に移ったが、医療費は高くなり、サービスも一般病院と変わらないのです。(女性、70～74歳、介護療養型医療施設(療養型病床群等))
- ・ 痴呆症の義母がお世話になっていて家族は心身ともに楽になりました。しかし何の楽しみもなくただ1日が過ぎていくだけの様子でかわいそうに感じます。(女性、80～84歳、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))
- ・ リハビリに力を入れたいが、特養施設では満足にできない。希望すれば専門の指導員の派遣ができるくらいに人員の増員があると助かる。(男性、80～84歳、介護療養型医療施設(療養型病床群等))

利用者・保険料負担について

- ・ 日頃職員の皆様にはたいへんお世話になり、感謝しております。保険料など負担があまり多くならないことを希望します。(女性、70～74歳、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))
- ・ 保険料の考え方は所得でなく、収入や預金等も含めた算定方法が望ましい。(女性、90歳以上、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))

基盤整備について

-
- ・ 市内の施設が2～3年待ちといわれますが、もっともっと増やすべきです。(女性、90歳以上、介護老人保健施設(老人保健施設))
 - ・ 老人保健施設の数や入所日数をもっと増やしてほしい。訪問介護・看護の人材が少ないので多くしてほしい。(女性、85～89歳、介護老人保健施設(老人保健施設))

認定について

- ・ 介護保険の認定審査は厳正・公正に行なわれることが必要です。(女性、90歳以上、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム))

(4) 現行事業者・新規事業者

事務手続きについて

- ・ 事務手続きの簡素化。1つの市と契約したら、各市共通となるような方策を望む。(社会福祉法人、在宅介護支援センター/短期入所施設/介護老人保健施設)
- ・ 認定期間満了のお知らせ通知と認定調査料の明細通知がほしい。(株式会社、民間サービス事業者)

人材育成について

- ・ ケアマネジャーには統合的知識が必要とされるが、ケアマネジャー育成の研修プログラムには画一的なところがあり、また内容もあまりに不足すぎる。不足している部分を集中的にフォローするプログラムをつくってほしい。(社団法人、訪問看護ステーション)
- ・ ケアマネジャー、ヘルパーなどの人材育成に力を入れてほしい。(財団法人、一般病院)

ケアマネジャーについて

- ・ ケアマネジャーが事業所所属であること、報酬が低いこと、雑多な業種から寄せ集め的な問題があることなどから、時間的にもスキルアップすることができず、何でも屋の存在になっているような気がします。(株式会社、民間サービス事業者)
- ・ 受け持った利用者の施設手配、入院手配、相談、見積りの立会いなど、多くの時間や電話代をかけても出費だけの気がします。(有限会社、在宅介護支援センター/薬局)

要介護度について

- ・ 介護保険の要介護度に関する基準が、痴呆等において不適正である。(医療法人、短期入所施設/介護老人保健施設)

施設関係について

- ・ 介護療養型医療施設でのケアの改善、向上を心がけていますが、介護報酬との兼ね合いで思うようなサービスが行なえない。(財団法人)
- ・ 施設系サービスへの規制緩和をすすめて、民間サービス事業者を積極的に活用してほしい。(株式会社、民間サービス事業者)
- ・ 病院併設でない単独型老人保健施設では他科受診がスムーズにいかない。老人保健施設に入所中の方の症状が急変しても受け入れる医療機関が少ない。また、定期的な医療処置が必要な方は、他老人保健施設でも入所を断られるケースが多く困っている。(社会福祉法人、介護老人保健施設)
- ・ 施設のニーズがかなり高いのが現状だと思います。在宅のニーズを増やして魅力ある

ものにしてほしい。(株式会社、民間サービス事業者)

全般(市への要望等)について

- ・ 今回の調査対象は多岐にわたっていますが、比較的安定した財政基盤を保っているところと非営利活動団体とでは天と地との開きがあります。貴市がサービス参入について検討する場合は、一定条件を明確にし、その対象者に調査を実施したほうが良いと思います。(NPO、民間サービス事業者/短期入所施設/グループハウス事業)
- ・ 介護保険は社会的入院を減らすことも目的の一つと思われますが、退院が先に決まり、ケアマネジャーが短期間でたいへんな思いをして動き回るなど、情報もなかなか開示してもらえないなかで困り果てることも多く、統一した連携システム也没有。(合資会社、民間サービス事業者)

介護報酬について

- ・ 要介護状態の重度化を防止するため、通院の送迎を保険給付対象としてほしい。家事援助の報酬を上げてほしい。基準該当事業者にも指定事業者に対するのと同等の情報が届くよう配慮してほしい。(NPO、民間サービス事業者)
- ・ 家事援助、身体介護等のサービスを決定する基準があやふやで、ケアマネジャーにも徹底されておらず、利用者に対しての説明もされていない。(株式会社、在宅介護支援センター)
- ・ 入浴介助加算に対する介護報酬が安い。(事業者：西東京市/運営委託先：社会福祉法人、デイサービス)
- ・ 利用者を増やし、ヘルパーを増員しても売上げになかなかつながらない現状をみてほしい。(株式会社、民間サービス事業者)
- ・ 各事業の運営が安定するような適切な報酬の設定が必要である。改正が早く正しく行なわれるよう希望する。(NPO、民間サービス事業者)

介護報酬以外の制度自体に対する意見

- ・ NPO法人としては、住民参加型の事業展開をして、地域全体の介護力の向上をめざしたいと考えていますミニデイサービスが小学校区ごとに実施され、それらがネットワーク化し、地域ぐるみで高齢者の支えあいができ、寝たきり高齢者をつくり出さないような施策を進めたい。(NPO、民間サービス事業者)
- ・ 人員配置基準の見なおし。施設の特色について、自由な料金設定ができる範囲を設定してほしい。介護報酬がカバーしているサービス内容を明確にしてほしい。(社会福祉法人、短期入所施設/介護老人福祉施設)

福祉用具関係

- ・ 福祉用具貸与のことで、請求してから2ヶ月後ではなく1ヶ月後に払われるようにしていただきたいです。(株式会社、住宅改修/福祉用具貸与・販売)
- ・ 商品の値段は安いのに関わらず、手間が多いために個人負担を増すようなことをしてほしくない。(NPO)
- ・ 福祉用具レンタルの分野からみた限りでは、同一製品でレンタル価格にかなりのばらつきがある。心身障害者福祉法の舗装具のように、公示価格を決めるべきではないか。(その他、民間サービス事業者)

